

ナンテンの育て方

育てやすさ：★☆☆☆☆ そだてやすい

日当たり：日向～半日陰

実がなるまでの年数：3～4年

株を健全に育てるには

日当たりがよい方が花や実がよくつく

開花期に長雨が連続すると実つきが悪くなる

植え替えの適期 3～4月、9～10月

用土 赤玉土（中粒）：腐葉土=7：3

庭植えの場合

①幅・深さとも根鉢の2倍ほどの大きさの穴を掘ります。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③木の根元が地表より20cm高くなるように穴の底に用土を入れ、穴に水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。水を与えると株が沈むので、最初は高めに植えます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

※水はけが悪い場所では植穴の底に5cmほど砂利を敷いてから植えます。

鉢植えの場合

鉢の底から根が伸び出てきたら鉢の中が根でいっぱいになっているので、一回り大きな鉢に植え替えてください。

①根鉢より1回り大きい鉢を用意します。

②布ポットの場合は側面に切れ目をいれ、そのまま植えます。ポリポットやプラスチック鉢の場合は根鉢を抜き、根を軽くくずします。

③鉢に用土を入れ、株を据えたら、水を入れながら根となじむように、すき間を用土で埋めます。

④株もとの用土を手で押しかためます。

水やり 庭植えの場合は土がひどく乾かないかぎり必要ありません。鉢植えは土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。

肥料 冬に油かすなどの有機肥料を根元に施します。追肥をする場合は9月に有機肥料と緩効性化成肥料（N-P-K=10-10-10など）を混ぜたものを施します。

剪定 ほとんど必要ありませんが、枝が茂りすぎたり、間延びした場合は3～4月に、幹を切り詰めたり、地際で切り落とします。

実がついたら 鳥による食害を防ぎたい場合は、防鳥ネットをかけます。

病害虫

ほとんど病虫害は発生しませんがカイガラムシが発生することがあります。

カイガラムシ

症状：美観を損ねたり、すす病を誘発したりします。

対処：歯ブラシでこすり落とします。スミチオン乳剤などを散布します。

※薬剤散布に際しては必ず商品の説明をよく読み、記載内容に従って正しく安全に使用してください。